

2学期始業式の話

皆さん、おはようございます。

さあ、2学期がスタートしました。

デルタ株が猛威を振るい皆さんの生命・健康を守るために始業式が本日になりましたが、みんなの元気な顔がそろい、とてもうれしく思っています。

1 学期の終業式に夏休みに心がけてほしいこと3つの話をしました。覚えていますか？みんなで振り返ってみましょう。

1 健康で安全に過ごす。

事件や事故に巻き込まれたり、熱中症になったりしないように、そして、万全なコロナ対策をして、元気に過ごすことができましたか。

2 オリンピック・パラリンピックを満喫する。

オリンピック・パラリンピック、TOKYO2020大会を満喫することができましたか。テレビを見て応援する、興味のある種目について調べる、ぜひ応援したい選手の活躍を記録する、どこの国からどんな選手がどんな種目に出場しているか調べる等、様々な方法で、日本で開催されたオリンピック・パラリンピックを通して貴重な経験をすることができたことと思います。

3 一つのことを極める。

読書、感想文、絵画、工作、自由研究等、何か一つ決めて、思いっきり取り組むことができましたか。コンクールに応募する作品がありましたら山下先生がまとめて提出してください。

新型コロナウイルス感染症予防のために制約があり、昨年同様いつもの夏休みのようにはいかなかったかもしれません。

でも、きっと充実した夏休みをすごすことができたのでしょ。校門で皆さんの元気な顔がそのことを物語っているようでした。

さて、皆さんはTOKYO2020から多くのことを学んだことと思います。

校長先生が心に残ったこと4つお話しします。

一つ目は、「あきらめない」です。病を克服して出場に辿り着いた選手、また、小さいころから練習に練習を重ねてきてようやく出場できた選手、実施種目に返り咲き連覇を果たした選手等、様々ですが、共通していることは「あきらめない」で、たゆみない努力を続けたことです。

二つ目は、「感謝」です。選手のインタビューを聞いていて共通していることは、「指導して下さった監督やコーチ、家族、応援してくれた皆さんに感謝しています。」と「感謝」の気持ちを述べていました。人は一人では生きていけません。自分の頑張りはもちろん多くの人に支えられていることへの感謝の気持ちが伝えられることはとても素敵なことだと思いながら聞いていました。

三つめは、「おもてなし」です。「素晴らしいパフォーマンスと笑顔、そして日本に来てくれてありがとうございます。」と書かれたメッセージボードを手に空港で選手たちを拍手で温かく送り出すボランティアグループの姿に「ちょっとした気配りが美しい」と「おもてなし」に感銘を受けたという選手の声。他にも様々な場面で活躍するボランティアに対する称賛の便りを目にしました。

四つ目は、「あるものを徹底的に突き詰める」です。パラリンピアン一人一人が自分の持ち味を最大限生かして全力を尽くしている姿に感動しました。「パラハートちょうふ」にもつながります。

皆さんがTOKYO2020から学んだことを、これからの生活に役立ててくれると嬉しいです。

2学期の第一のめあては安全に過ごすことです。今も緊急事態宣言発令中で感染力の強いデルタ株が蔓延し、まだまだコロナの心配が続いています。

8月にミートで担任の先生からもお話がありましたように1学期以上に、正しいマスク着用、正しい手洗い、ソーシャルディスタンスを心がけて「新しい生活様式」に従って生活しましょう。具合が悪いときは無理をせずに、お休みしましょう。

そうすることが安全で「自分の命を守ること」「人の命を守ること」につながります。

2学期は1年の中でも一番長く、学習にも運動にも落ち着いて取り組むことができる学期です。

コロナに気を付けながら精一杯頑張りましょう。